



小松市百年の大計として取り組んできましたJR線の高架化事業は、平成15年度の完成を目指して現在順調に進捗しており、駅舎や土地区画整理事業地内のシンボルロードも、徐々にその姿を現しつつあります。これらの都市基盤整備事業により街の骨格ができることになりませんが、街の表情は、そこに住み、暮らし、働く人たちによって形作られるものであり、そうした意味で駅周辺のまちなみ景観は、まさにこれから創られるところであるといえます。

「こまつまちなみ景観賞」は、本市の都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として行っているもので、今年で3年目となります。お陰様で、年々応募件数も増え、市民の関心の高まりを感じております。

「景観十年、風景百年、風土千年」と言われるように、心にしみ込むような景観は、一朝一夕にできるものではありませんが、そこに住み生活している人の意識により、確実に変わるものでもあります。

景観への意識が高まってきている今、市民の皆さんと一緒に潤いと魅力あふれる小松の景観づくりに努力してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

こまつまちなみ景観賞 実行委員会会長
小松市長 西村 徹

趣 旨

日ごろ何気なく眺めている街の風景。ちょっと目を凝らして見れば「ステキだな」と感じる街並みやオープンスペースなどに不思議と潤いと安らぎを覚えるものです。

「こまつまちなみ景観賞」はまちづくりの取組みとして、さらに都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、小松の自然、風土に調和し優れた都市景観づくりに貢献している建築物等を選び、それに携わった人々を顕彰するものです。

表彰銘板

実行委員会では、こまつの優れたまちなみ景観に対して、広く市民に周知するため、受賞された施主の方々に、九谷窯元工業協同組合作製の「九谷焼の銘板」を贈呈しています。



第2回受賞 すみげん本店